

巾箱

染模様の手拭を用ひ、何の用と云事を不知様に成たり、

〔類聚名義抄〕巾箱六巾箱タノコヒノハコ

〔伊呂波字類抄〕巾箱太巾箱タナコヒノハコ

〔儀式〕六月十一日神今食儀十二月准此

亥一刻薦御膳其行立次第略中次典水二人一人執巾篋、一人執刀子篋、

〔延喜式〕七踐大嘗祭、采女十人一人執巾篋、

〔延喜式〕七内匠、年料革篋廿合略中巾篋二合各方一尺二分、深八分、

〔延喜式〕三十一宮内、供奉神事諸司行列

采女八人一人執巾篋、

〔延喜式〕四十三主膳、年料

宮四合御巾料

〔江家次第〕十五大嘗會

皇上召御手水女藏人傳供、近例頭

〔侍中群要〕四男房人供御盥儀

御手水番依例裝候御手水略中次人進取御手巾篋在御厨子、不具高坏、退當大床子西候東面、略御手水了供

御手巾事了立御、如本置雜具等則退去、

〔禁秘御抄〕上朝餉

二間、南平敷二枚北上東北立屏風絹屏風、略御屏風内外案御調度、二階一、押錦唐匣篋一、略中手拭篋

略〇下

〔日中行事〕大床子につかせおはします、圓座の前大床子のまへに御けふそくあり、御手をこして袖をか